

## SDS 製品情報データシート

## 【1. 化学品及び会社情報】

化学品等の名称	業務用薬用ハンドソープ Sani-Clear (サニクリア) 無香料 5kg 1本入 H5000
製品コード	3-5378-01
会社名	アズワン株式会社
住所	大阪市西区江戸堀2-1-27
担当部門	品質保証部エビデンス管理グループ
電話番号	06-6447-8614
FAX番号	06-6447-8664
緊急連絡電話番号	06-6447-8614 06-6395-6593
推奨用途	皮膚の洗浄・殺菌・消毒
使用上の制限	用途以外に使用しない

## 【2. 危険有害性の要約】

## 化学品のGHS分類

物理化学的危険性	分類できない
健康に対する有害性	
急性毒性（経口）	分類できない
急性毒性（経皮）	分類できない
急性毒性（吸入:気体）	区分に該当しない
急性毒性（吸入:蒸気）	分類できない
急性毒性（吸入:粉じん/ミスト）	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	区分 2
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 1
呼吸器感受性	分類できない
皮膚感受性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	分類できない
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	分類できない
誤えん有害性	分類できない
環境に対する有害性	
水生環境有害性 短期（急性）	分類できない
水生環境有害性 長期（慢性）	分類できない
オゾン層への有害性	分類できない

## GHSラベル要素

## 絵表示又はシンボル：



注意喚起語：	危険
危険有害性情報：	皮膚刺激 重篤な眼の損傷

## 注意書き

## [安全対策]：

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
取扱い後は手をよく洗うこと。  
環境への放出を避けること。

## [応急措置]：

飲み込んだ場合：  
口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。  
皮膚に付着した場合：  
多量の水で洗うこと。  
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。  
皮膚刺激が生じた場合：  
医師の診察/手当てを受けること。  
眼に入った場合：  
水で数分間注意深く洗うこと。

	次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。 その後も洗浄を続けること。 直ちに医師に連絡すること。
[保管] :	漏出物を回収すること。 密閉して保管すること。
[廃棄] :	内容物／容器を関連法規制ならびに地方自治体の基準に従い廃棄すること。

## 【3. 組成及び成分情報】

化学物質・混合物の区別	混合物
化学名又は一般名	
有効成分	イソプロピルメチルフェノール
その他の成分	K石けん素地 アルキルグリコシド エデト酸塩 グリセリン プロピレングリコール エタノール pH調整剤 緑色201号 黄色4号

## 【4. 応急措置】

吸入した場合	新鮮な空気の場所に移動する。
皮膚に付着した場合	水で十分に洗い流す。 刺激を感じたときは医師の診断を受ける。
眼に入った場合	速やかに流水でよく洗眼する。コンタクトレンズは外す。 状態に変化が見られた場合、速やかに医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合	吐かずに口をすすぎ、水を飲む等の処置をする。 異常があるときは速やかに医師の診断を受ける。

## 【5. 火災時の措置】

適切な消火剤	粉末消火薬剤、水溶性液体用消火薬剤、二酸化炭素、砂、霧状水
使ってはならない消火剤	知見なし
特有の消火方法	消火作業は、風上から行う。周囲の設備等に散水して冷却する。

## 【6. 漏出時の措置】

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	作業の際には、必ず保護具(保護手袋、保護眼鏡、保護衣、ゴム長靴等)を着用する。 屋内の場合、作業が終わるまで十分に換気を行う。 多量の場合、人を安全に退避させる。
環境に対する注意事項	流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。 大量の水で希釈する場合は、汚染された排水が適切に処理されずに環境へ流出しないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	少量の場合は、吸着剤(おがくず・土・砂・ウエス等)で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等よく拭き取る。 多量の場合は、周囲への流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。

## 【7. 取扱い及び保管上の注意】

取扱い	
技術的対策	取扱場所の近くに、緊急時に洗眼及び身体洗浄を行うための設備を設置する。
安全取扱注意事項	取扱い後は手をよく洗う。
接触回避	知見なし
保管	
安全な保管条件	容器を密閉して換気の良い場所で保管する。 他のものと混同しないように保管する。
安全な容器包装材料	他の容器に移し替える場合は、専用容器を使用する。 (商品名、使用方法、注意事項を明記した専用容器)

## 【8. ばく露防止及び保護措置】

保護具	
呼吸用保護具	必要に応じてマスクなどを着用
手の保護具	保護手袋(不浸透性を検討する)
眼、顔面の保護具	保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具	保護衣

## 【9. 物理的及び化学的性質】

物理状態	液体
色	緑色
臭い	原料臭
融点／凝固点	知見なし
沸点又は初留点及び沸騰範囲	知見なし
可燃性	知見なし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	知見なし
引火点	知見なし
自然発火点	知見なし
分解温度	知見なし
pH	10.0±1.0 (原液、25℃)
動粘性率	知見なし
溶解度	水と任意の割合で混合
n-オクタノール／水分配係数 (log値)	知見なし
蒸気圧	知見なし
密度及び／又は相対密度	1.01±0.02 (原液、25℃)
相対ガス密度	知見なし
粒子特性	知見なし

## 【10. 安定性及び反応性】

反応性	知見なし
化学的安定性	通常の取扱い条件においては、光、熱、衝撃に対して安定である。
危険有害反応可能性	知見なし
避けるべき条件	知見なし
混触危険物質	知見なし
危険有害な分解生成物	知見なし

## 【11. 有害性情報】

急性毒性	
経口	知見なし
経皮	知見なし
吸入:気体	区分に該当しない
吸入:蒸気	知見なし
吸入:粉じん／ミスト	知見なし
皮膚腐食性／刺激性	区分 2 皮膚刺激
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分 1 重篤な眼の損傷
呼吸器感作性又は皮膚感作性	
呼吸器	知見なし
皮膚	知見なし
生殖細胞変異原性	知見なし
発がん性	知見なし
生殖毒性	知見なし
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	知見なし
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	知見なし
誤えん有害性	知見なし

## 【12. 環境影響情報】

生態毒性	知見なし
残留性・分解性	知見なし
生態蓄積性	知見なし
土壤中の移動性	知見なし
オゾン層への有害性	知見なし

【13. 廃棄上の注意】

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

【7. 取扱い及び保管上の注意】を参照する。  
 内容物を関連法規制ならびに地方自治体の基準に従い廃棄する。  
 使い終わった容器は、よく洗ってからリサイクル又は処分する。

【14. 輸送上の注意】

国連番号	該当しない
品名（国連輸送名）	該当しない
国連分類	該当しない
容器等級	該当しない
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策	【7. 取扱い及び保管上の注意】の項の記載による他、 運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、 損傷がないよう積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。
国内規制がある場合の規制情報	適用法令の定めるところに従う。

【15. 適用法令】

該当法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報

医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律	医薬部外品
労働安全衛生法	
名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第57条、施行令第18条）（記載内容は営業秘密に相当する）	対象外
名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2、施行令第18条の2）（記載内容は営業秘密に相当する）	対象外
皮膚等障害化学物質（則第594条の2）（記載内容は営業秘密に相当する）	対象外
特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律（PRTR法、化管法）	該当しない
毒物及び劇物取締法	該当しない
消防法	該当しない

【16. その他の情報】

参考文献 石けん、洗剤、洗浄剤、仕上げ剤等誤飲・誤用の応急処置  
 財団法人日本中毒情報センター監修 日本石鹼洗剤工業会（2003）

記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、危険性、有害性の評価は必ずしも十分ではありませんので、取扱いには十分注意してください。  
 また、記載事項は通常の取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。  
 なお、この情報は新しい知見に基づき予告なしに改訂されることがあります。